



**広島県遊技業防犯協力会連合会・
広島遊技業防犯協力会
(広島県遊技業協同組合)
「積極的且つ長期的
防犯活動及び暴力追放活動等
社会貢献活動を推進」事業**



広島遊技業防犯協力会
支部長
山本基甫さん

**防犯カメラの寄贈や
暴力追放活動の推進で
地域の犯罪抑止や
安心な街づくりに協力**

**犯罪の抑止や事件の捜査に
有効とされる防犯カメラの設置**

日本には今、約500万台の防犯カメラがあるというデータがある。そのうち、街頭防犯カメラと呼ばれるものは、32都道府県に2,043台が設置されている(2020年3月時点、警察庁)。防犯カメラは、犯罪を抑止したり、利用者に安心感を与えたり、犯罪の捜査に役立ったりするなどの効果があるとされている。なかでも犯罪被害を未然に防いだり、事件の犯人を特定したりすることに有効とされることから、多くの自治体で設置が推進され、自治体、民間企業、ボランティア団体など様々なレベルで、防犯カメラの購入費用や設置費用などを支援する取り組みも増えている。

都道府県にある遊技業協同組合をはじめ、その傘下の支部組合、組合員ホールでも、地域の安全・安心を守る社会貢献活動の一環として、地元の警察署などと連携し、防犯カメラの設置に対する支援、協力をしているところは少なくない。そうしたもののなかには、実際の事件捜査に役立ったり、街頭犯罪の減少に効果を発揮している。

広島県遊技業協同組合の関係団体である広島県遊技業防犯協力会連合会に所属する広島遊技業防犯協力会も、防犯カメラの設置の支援に積極的に取り組んでいる団体である。広島遊技業防犯協力会では地域の犯罪防止を目的に、2012年からこれまでに、団体のある広島県呉市の広島警察署および呉市防犯連合会に対し、防犯カメラを20台寄贈してきた。

**長年にわたる防犯カメラの寄贈や
暴力追放活動の推進で高い評価**

広島遊技業防犯協力会では、2023年、広島警察署および呉市防犯連合会に対し、防犯カメラ4台とレコーダー1台を寄贈した。寄贈された防犯カメラは四新開交差点(広島新開)の信号機用のもので、ハイビジョンで撮影・録画ができ、赤外線投光器が内蔵されているため、夜間の撮影も可能である。防犯カメラの設置後、2023年7月3日に広島警察署署長室で運用開始式を開催するとともに、出席した広島警察署署長、呉市防犯連合会会長から、広島遊技業防犯協力会の山本基甫支部長に対して感謝状が授与された。これに対し、山本支部長は「住みやすい町を目指して、今後も地域の治安を守っていく活動に協力していきたい」と、今後の抱負を語った。

広島遊技業防犯協力会では、防犯カメラの寄贈以外にも、防犯ベスト100着の寄贈、夜間パトロールの実施、特殊詐欺被害に遭わないための啓蒙活動などにも取り組み、長年にわたって広周辺地域の各種犯罪抑止、交通事故防止などに多大な貢献をしている。2019年には、「広島県減らそう犯罪総ぐるみ運動」に呼応した街頭活動を積極的に推進した功勞により、広島県から防犯功勞団体として表彰されるとともに、暴力追放活動に尽力した功勞により、広島県暴力監視追放防犯連合会から感謝状を贈られている。

さらに2023年、山本支部長が会長を務める呉市暴力監視連合会は、長年にわたる暴力追放活動を推進した功勞により、中国ブロック暴力追放運動推進センター(会長、湯崎英彦広島県知事)と中国四国管区警察局との連名による表彰状を授与されるとともに、山本支部長個人に対しても、警察庁長官名による「暴力追放榮譽銅賞」が授与された。



広島県警広島警察署および呉市防犯連合会から感謝状を受領



広島警察署で行われた感謝状授与式には広島警察署署長などが出席